Academia animalium アカデミア・アニマリウム

千葉市動物公園 Chiba Zoological Park

園主体の調査研究の取り組み

千葉市動物公園　中山　侑

園主体の調査研究の必要性

外部機関との「共同研究」とは異なる分野

- 動物の飼育, 獣医師技術が必要な調査
- 長い年月や, 連続的に追う調査
- 急な変化がある時の調査
- 繁殖の向上や事故防止に直結する調査

これまでの課題

問題　貴重な情報が埋もれていく

- データ収集はしても解析までに至らない
- 発表を行うのは一部の人（特に20-30代）

原因

- 時間がない
- 調査・解析方法が分からない
- 発表の形式やルールが分からない

2020年9月
研究・教育 推進プロジェクト発足
「**アカデミア・アニマリウム**」
（動物をめぐる学術の場）

全員が調査研究に
取り組める環境整備

園主体の調査研究を体制化

主な改善点

- ✔ 1人1研究発表のルール化
- ✔ 研究・発表フォームを統一
- ✔ 研究・教育専任職員の採用

千葉市動物公園の研究発表プロセス

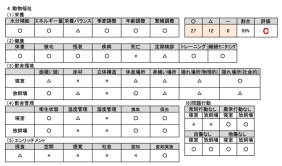
研究テーマ探し

①日々の課題から探す

- 動物の闘争やケガに繋がっているもの
- 動物に負担がある治療や健康管理
- 繁殖・育成技術が不足しているもの

POINT! ②動物福祉評価から探す

改善すべき評価項目から考える



・年２回　飼育担当者が種ごとに更新

現在は園内基準のため、
今後は2023年より始まる
JAZA動物福祉基準に合わせて改良

調査・解析

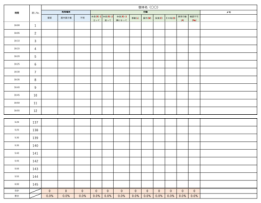
①調査準備

- 調査時期を決定
- 調査資材準備（エンリッチメント資材など）
- 調査機材の設置（カメラ・計測器など）

機材やエンリッチメント資材の調達方法
・Amazon欲しいものリスト
・クラウドファンディング
・企業の協力
など

②調査シート

POINT! フォーマット使用



③解析シート

POINT! フォーマット使用

POINT! 専門職員による 研究相談窓口

調査・解析方法の相談
・観察や解析方法
・機材の使い方

スケジュール相談
・データ収集時期
・ポスター締め切り
・進捗確認

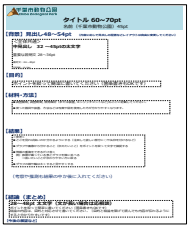
情報収集フォロー
・論文収集
・外部問い合わせ

内容チェック
・必要事項
・記載順序
・論理構成
・文章表現

まとめ

①ポスター作成

POINT! フォーマット使用



②スライド作成

ポスター完成後に
ポスター内容に沿って作成

③発表練習

園職員に向けて発表

「予演会」

- 発表方法の改善
- 担当職員以外に結果を共有
- 他の職員の知見も含めて再考察

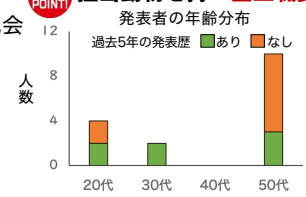
発表

①発表先

- JAZA 飼育技術者研究会
- 園内イベント
- 研究学会

②発表者

POINT! 担当動物を持つ全正職員



新卒・50代の発表者が増加

③発表形式 全員がポスター・口頭の両方実施

口頭発表

「ちばZOOフェスタ」での発表事例

ポスター発表（掲示）

千葉市動物公園 動物科学館2F（1年間掲示）

改善後の変化

- フォーマット使用により、調査の準備・解析時間が短縮された
- 園内に研究相談窓口を設けることで、小さなこともすぐに相談・解決できるようになった
- 調査のためのカメラ設置の要望が増えた（昨年 3件 → 本年 10件）
- 論文化に挑戦する人が増えた（昨年 0件 → 本年 6件）